

指吸宗教法人会計システム

バージョンアップ(3.6.0.0 版)マニュアル

※ 指吸宗教法人会計システムのバージョンアップ前の作業とご注意

① バージョンアッププログラムのダウンロード

- ・弊社よりバージョンアップのお知らせメールを受信している方
メールからダウンロードを行います。

ダウンロードリンクからバージョンアッププログラム(kokoro.zip)をダウンロードして、解凍してください。

- ・弊社よりバージョンアップのお知らせメールの受信がない方
弊社ホームページよりお申し込みください。

<https://www.yubisui.co.jp/accounting/desktop/#versionupgrade>

上記 URL の「バージョンアッププログラムのダウンロード」を押下すると、お申し込み入力画面に遷移します。

必要事項に入力していただき、「送信」を押下すると、登録されたメールアドレスにダウンロードリンクが届きます。

ダウンロードリンクからバージョンアッププログラム(kokoro.zip)をダウンロードして、解凍してください。

※本マニュアルでは、デスクトップにバージョンアッププログラム(kokoro.zip)を解凍しています。

「Windows 標準の解凍機能を使用して、デスクトップに解凍する場合」

1. エクスプローラーで、ダウンロードしたバージョンアッププログラム(kokoro.zip)のあるフォルダを表示
2. バージョンアッププログラム(kokoro.zip)を右クリックして、「すべて展開」を選択
3. 展開画面にて、「参照」を押下して展開先に「デスクトップ」を選択してから、「展開」

② SQLServer2019 について(昨年度よりご案内。切り替え済の場合、作業不要)

公益法人会計システムでは、データベースシステムに SQLServer2012 を利用していますが、SQLServer2012 の Microsoft のサポート終了期限は 2022/07/12 までとなっております。これに伴い、公益法人会計システムでは、昨年度よりデータベースシステムに SQLServer2019 を利用することになりました。

Microsoft の SQLServer2019 へのインストール要件が、**Windows10 以降の 64bitOS でのみインストール可能**となっております。

(詳細は別紙「インストール要件」をご参照ください。

ダウンロードしたバージョンアッププログラム(kokoro.zip)内のチュートリアルフォルダにあります。)

インストール要件を満たさない場合は、継続して SQLServer2012 を使用していただき、公益システムのプログラムのみバージョンアップしていただくこともできます。

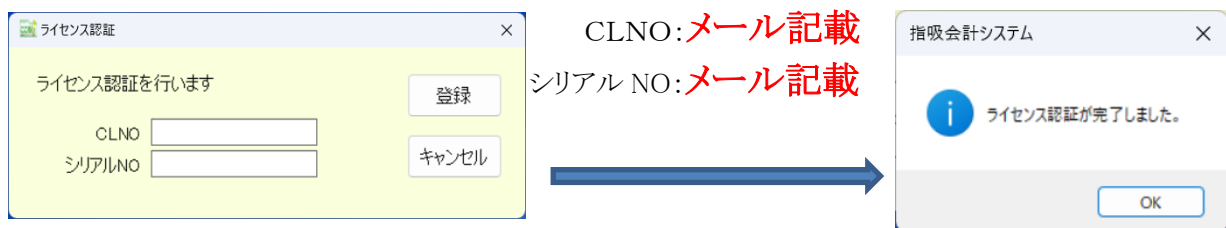
※Microsoft のサポート終了期限とセキュリティ対策上、SQLServer2019 への切り替えを検討ください。

※ ライセンス認証

指吸公益法人会計システムは、使用するすべてのパソコンで「ライセンス認証」が必要です。
ご利用のパソコンでの、初回起動時に「ライセンス認証画面」が表示されます。
「ライセンス認証済」以外のパソコンでは、指吸公益法人会計システムは利用できません。

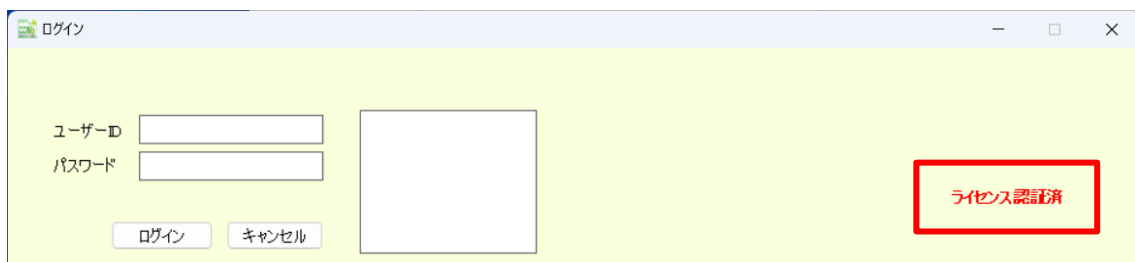
「ライセンス未認証」の場合、起動時に「ライセンス認証画面」が表示されます。

CLNO、シリアル NO が不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。



正常にライセンス認証が完了しない場合、サポートセンターにお問い合わせください。

ライセンス認証につきましては、別紙「ライセンス認証のお知らせ.pdf」をダウンロードした圧縮ファイル内に用意していますので、参照ください。



初期購入時は、メールに届いた「ユーザーID」「パスワード」にてログインすることができます。

ユーザーID: **メール記載**

パスワード: **メール記載**

I. バージョンアップ前に、以下の項目を確認してください

- 1. 「ファイル→システムバックアップの作成」を、必ず行ってください。

※バックアップデータが存在しない場合、初期状態からご利用いただく可能性があります。

- 2. ログイン時のユーザーIDを記録してください。

バージョンアップ後は、初回起動時の状態となっており、前回までの入力値が消えております。

記録したユーザーIDとパスワードを利用して、ログインしてください。

※データベースシステムを SQLServer2019 に入れ替えた場合、初期化してからご利用いただく必要があります。

初期化時のユーザーIDとパスワードは、別紙「取扱い説明書」を参照ください。

初期化時には、シリアル NO・CL-NO を入力していただく必要があります。

ご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

(「WEB 口座連携」機能をご利用の場合)

- 3. 「WEB 口座連携 - 連携一時解除」にて[F4 データ保存]を必ず行ってください。

※「WEB 口座連携」は特別なデータ管理を行っており、「1. システムバックアップの作成」には含まれません。

連携一時解除を行わない場合、登録ルールなど設定情報がすべてクリアされてしまいます。

① 「WEB 口座連携 - 連携一時解除 - F4 データ保存」

② 「WEB 口座連携 - 連携一時解除 - F7 連携解除」

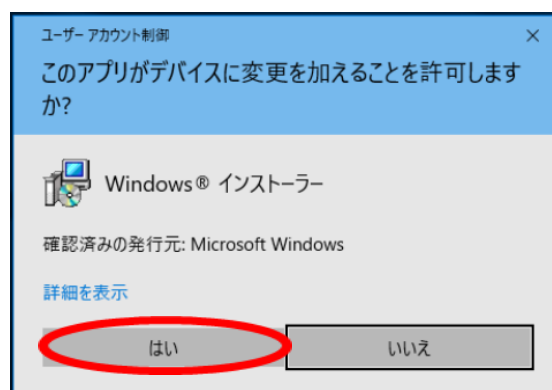
複数ご契約の場合、「連携解除時間」を記録しておいてください。再連携の際に利用します。

※公益法人会計システムのバージョンアップでは、旧バージョンを事前にアンインストールする必要はありません。

上記のチェックボックスにチェックは入りましたか？ チェックを確認の上、次に進んでください。

ご利用のパソコンの設定によっては、「ユーザーアカウント制御」のダイアログボックスが表示される場合があります。

「はい」を押下して、進めるようにしてください。



II. バージョンアップの手順

※「データベースの入替をしない場合」は、「2. インストールプログラムの起動」から始めてください。

1. MicrosoftSQLServer2012 のアンインストール

「Windows システム ツール」－「コントロールパネル」－「プログラムと機能」

「設定」－「アプリ」

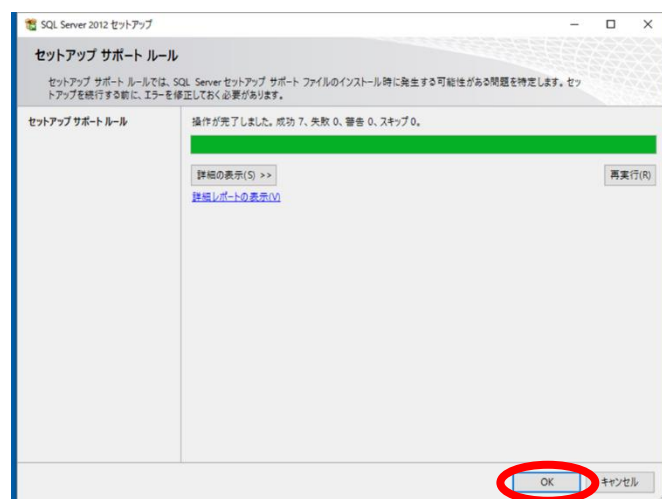
※ご利用の OS によっては、異なる名称やメニューになっている場合があります。

上記メニューの一覧から、「Microsoft SQL Server 2012」を選択してアンインストールします。

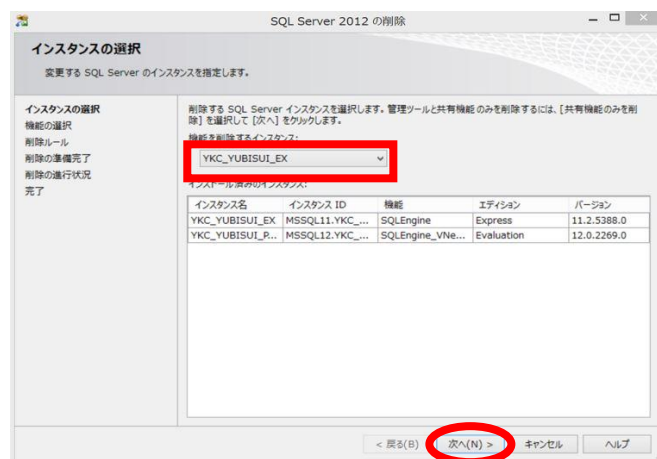
右図の画面が表示されるので、「削除」を選択します。



次に、「セットアップサポートルール画面」が表示されるので、「OK」を押下します。

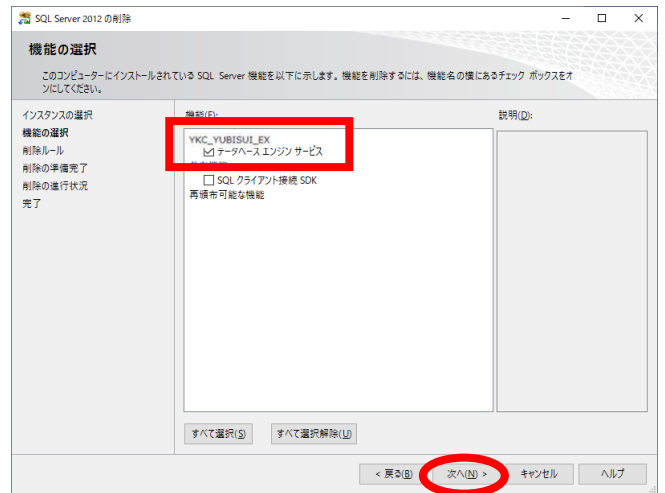


次に、「インスタンスの選択画面」が表示されるので、「機能を削除するインスタンス」には YKC_YUBISUI_EX を選択して、「次へ」を押下します。

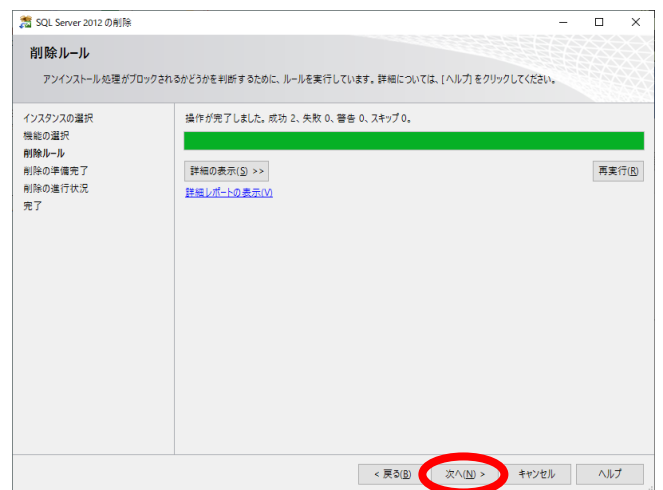


次に、「機能の選択画面」が表示されるので、「データベース エンジン サービス」のみにチェックを入れて、「次へ」を押下します。

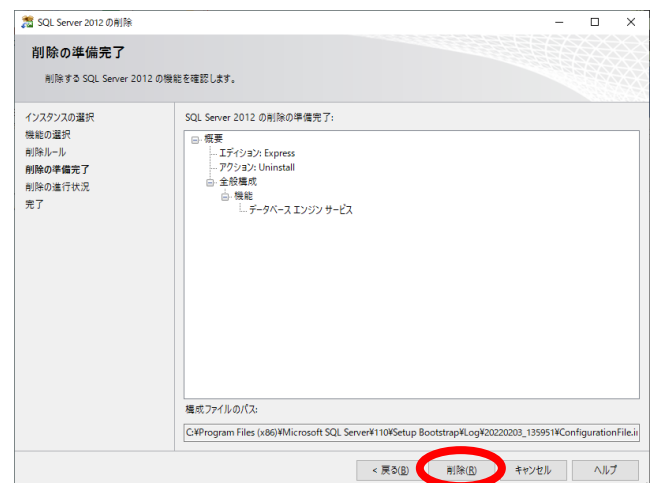
※他の項目にチェックを入れると、弊社システム以外に、SQLServer2012 を利用していた場合、正しく動かなくなる可能性があります。
弊社システム以外に、SQLServer2012 の利用がない場合は、すべての項目にチェックをつけても問題ありません。



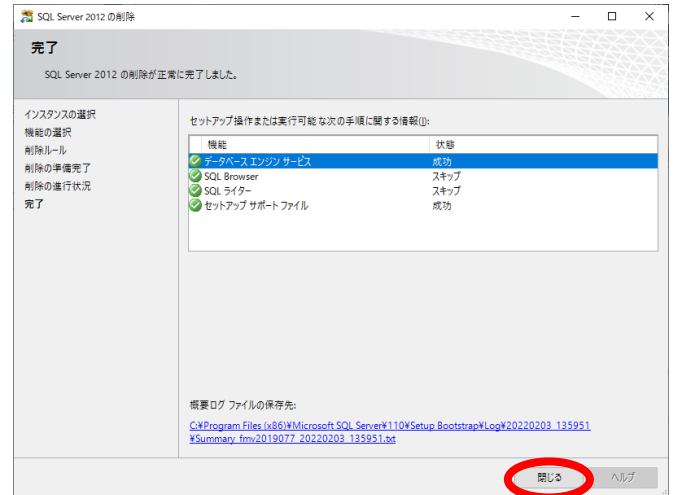
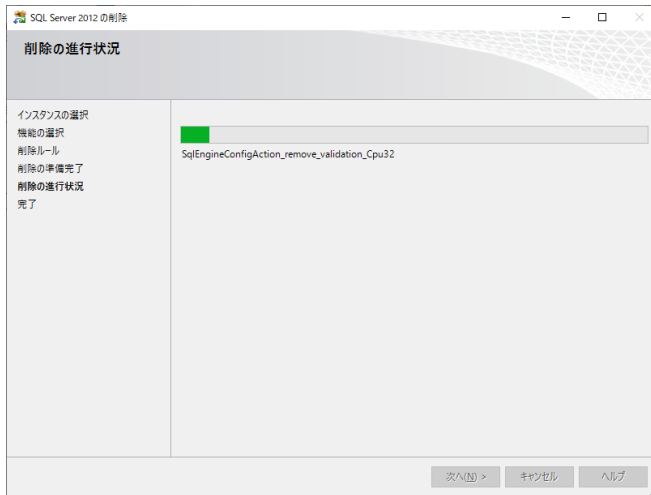
次に、「削除ルール画面」が表示されるので、「次へ」を押下します。



次に、「削除の準備完了画面」が表示されるので「削除」を押下します。



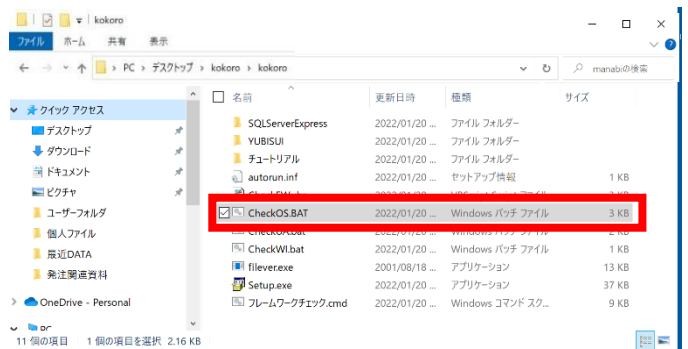
「削除」が進み、正常に終了すると、下右図の「完了画面」が表示されるので、「閉じる」を押下します。



※「2. インストールプログラムの起動」の前に、必ずパソコンの「再起動」を行ってください。
WindowsUpdate が更新待機中の状態でインストールした場合、途中でエラーになることがあります。

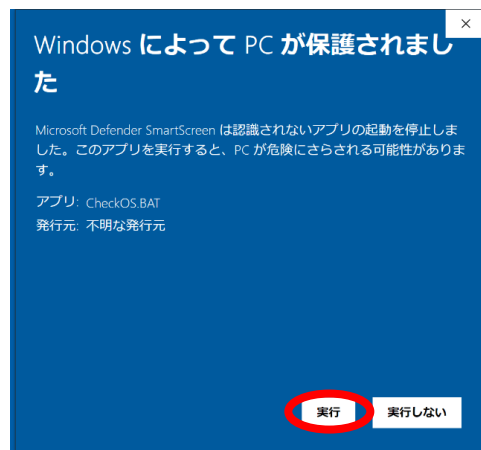
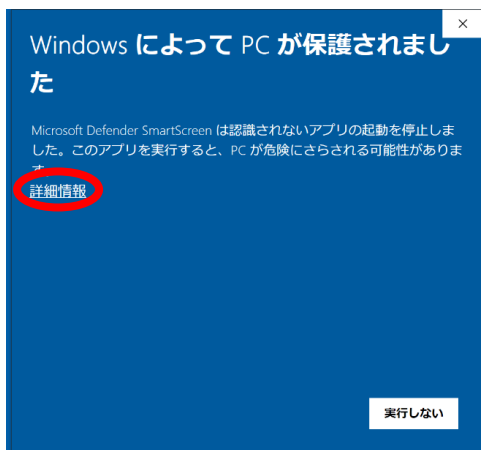
2. インストールプログラムの起動

ダウンロードした圧縮ファイルを、解凍して
できた kokoro フォルダ内の「CheckOS.bat」を
起動します。

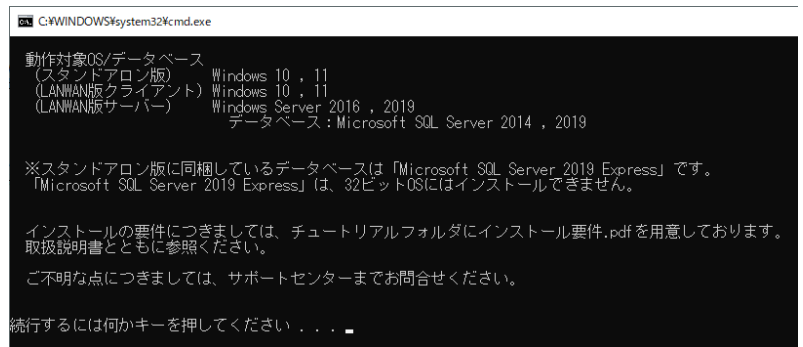


OS によっては、下左図の画面が表示されます。

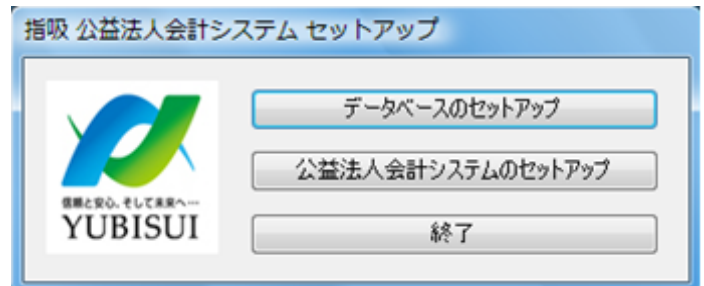
「詳細情報」を選択すると、下右図の画面に遷移しますので、「実行」を押下します。



右図のインストール要件が表示されるので、「Enter」キーを押下します。



セットアップ画面が表示されるので、データベースシステムを入れ替える場合は、「データベースのセットアップ」を押下します。



データベースシステムを入れ替えない場合は、「公益法人会計システムのセットアップ」を押下します。

※「データベースの入替をしない場合」は、「4. 指吸宗教法人会計システムのセットアップ」に進んでください。

3. データベースのセットアップ

「データベースのセットアップ」を押下すると、「ユーザーアカウント制御」のダイアログボックスが表示される場合がありますので、「はい」を押下します。

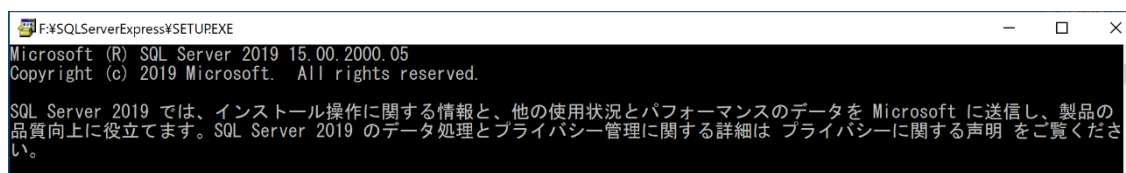


データベースは自動的にセットアップされます。
エラーにならない限りは、インストールが完了するまで、途中で作業をする必要はありません。

インストールが完了するまで、5-10 分ほどお待ちください。

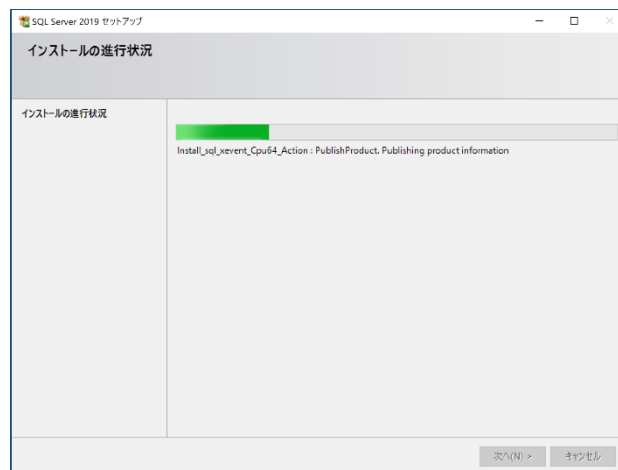
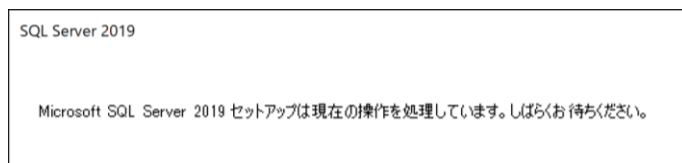
※完了までの時間は、パソコンのスペックや環境によって異なります。

下図の黒い画面が表示されたまま、インストールが進んでいきます。



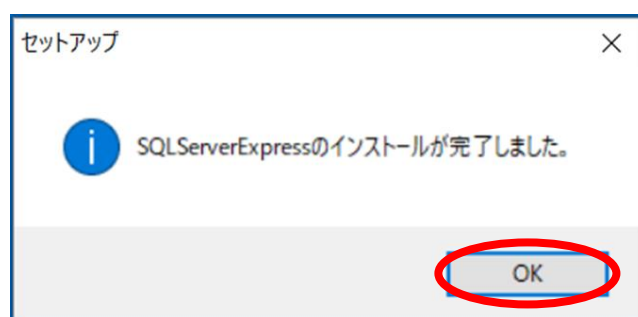
エラー画面が表示されて、インストールを完了できない場合、サポートセンターまでお問い合わせください。

下図の画面が表示されて、インストールが進んでいきます。



右図のインストール完了の画面が表示されたら、データベースのセットアップは終了となります。

「OK」を押下して終了します。



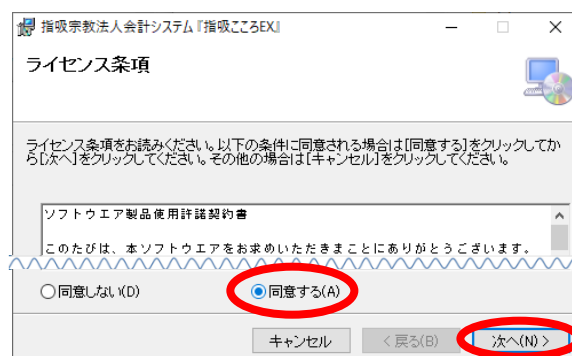
4. 指吸宗教法人会計システムのセットアップ

「公益法人会計システムのセットアップ」を押下すると、右図の「SAP Crystal Reports Runtime Engine for .NET Framework」の使用許諾契約画面が表示されます。

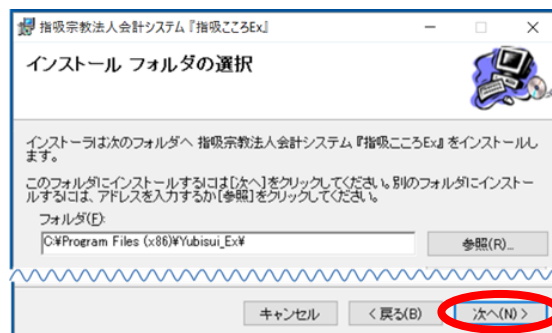
使用許諾契約を確認いただき、「同意する」を押下します。



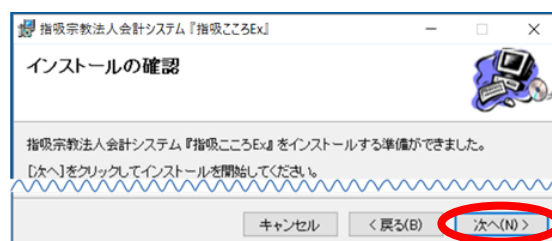
次に、「ライセンス条項画面」が表示されます。必ず、最後までお読みいただき、「同意する」を選択して、「次へ」を押下します。



次に、「インストールフォルダの選択画面」が表示されるので、任意のフォルダを選択して「次へ」を押下します。



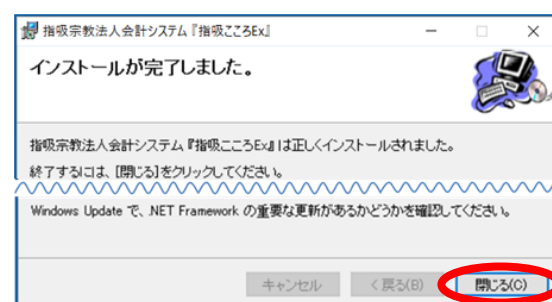
次に、「インストールの確認画面」が表示されるので、「次へ」を押下します。



右図のインストール完了の画面が表示されたら、公益法人会計システムのセットアップは終了となります。

「閉じる」を押下して終了します。

セットアップ画面も「終了」を押下します。



※「データベースの入替をしていない場合」は、「8. データのバージョンアップ」に進んでください。

5. データの初期化

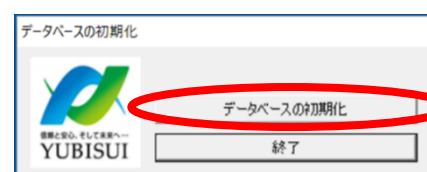
「データベースのセットアップ」を行っている場合、データの初期化を行います。

「プログラム一覧」-「指吸宗教法人会計システム『指吸こころ Ex』」-「データの初期化」を選択します。

※「プログラム一覧」・・・windows マークを押下すると表示される一覧またはすべてのアプリ

「データベースの初期化画面」が表示されるので、

「データベースの初期化」を押下します。



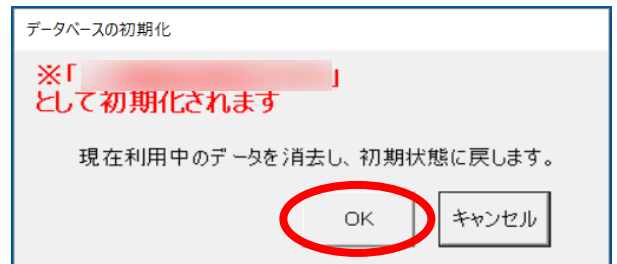
「初期化情報の入力画面」が表示されるので、

シリアル NO・CL-NO を入力し、「開始年度」を選択し、「初期化開始」を押下します。

※シリアル NO は、以前まで送付していた DVD や新規注文時のメールにて連絡しております。

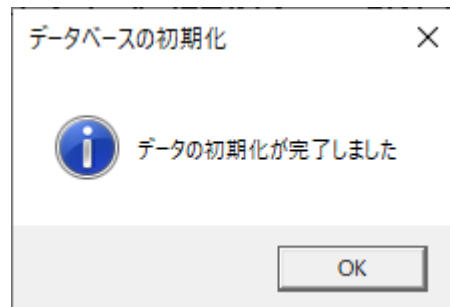
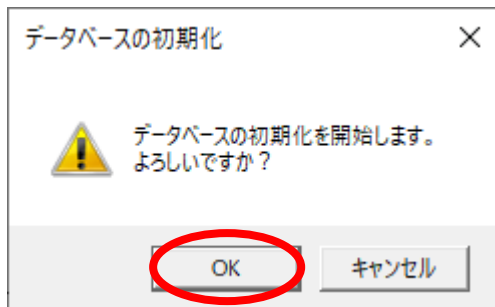
ご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください

シリアル NO・CL-NO を入力すると、
システム登録名（法人名）が表示されるので、
正しいことを確認してから、「OK」を押下します。



次に、下左図の「初期化開始画面」が表示されるので、「OK」を押下します。

下右図の「初期化完了画面」が表示されると、「データの初期化」が完了となります。



6. システムバックアップの復元(旧メニュー名は「データの復元」)

会計システム『指吸ころ Ex』を起動して、ログインします。

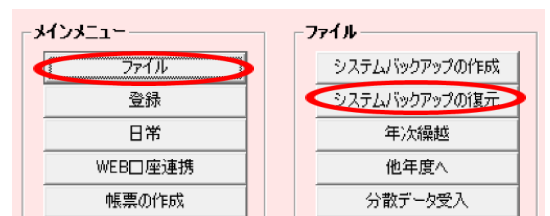
(初回起動時は2頁のライセンス認証を参照)

データベースシステムを入れ替えているので、初期化時のユーザーIDとパスワードにてログインします。

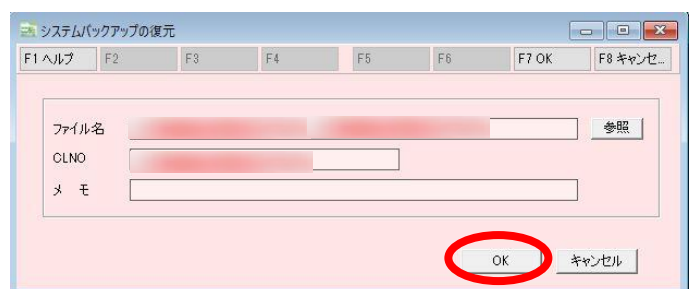
※初期化時のユーザーIDとパスワードは、別紙「取扱い説明書」を参照ください

「データの初期化」によりデータのない初期状態に戻っている
ので、バックアップしたデータを復元します。

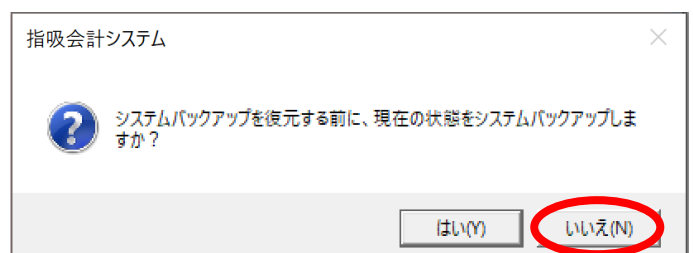
「ファイル - システムバックアップの復元」を選択します。



「システムバックアップの復元画面」にて、
「参照」からバックアップしたデータを選択して、
「OK」を押下します。

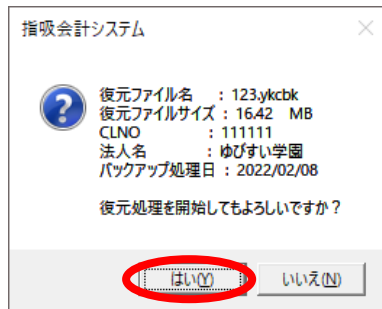


右図のシステムバックアップは不要ですので、
「いいえ」を押下します。



下左図の「復元開始の確認画面」では、「はい」を押下します。

下右図の「復元処理完了画面」が表示されると、「システムバックアップの復元」が完了となります。



※「WEB 口座連携を利用していない場合」は、「8. データのバージョンアップ」に進んでください。

7. WEB 口座連携の再連携と復元

会計システム『指吸ころろ Ex』を起動して、WEB 口座連携を利用していたユーザーID でログインします。

※「データ保存」時のユーザーID と同じユーザーID でなければ、「データ復元」できません。



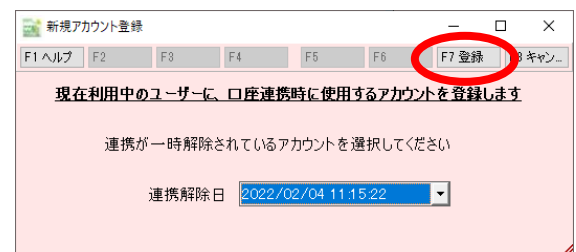
最初に、「再連携」(一時解除していたアカウントの再登録)を行います。

「WEB 口座連携」-「口座管理」を選択します。

「新規アカウント登録画面」が表示されるので、

「F7 登録」を押下します。

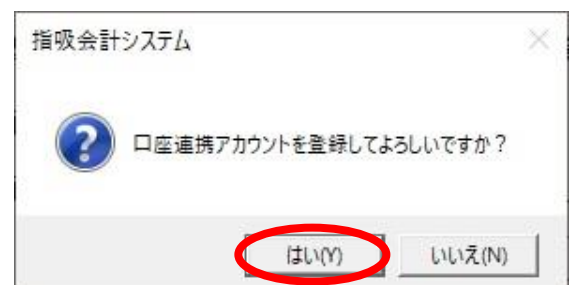
(複数契約時は「連携解除日」を選択する場合があります)



「登録確認画面」が表示されるので、「はい」を押下します。

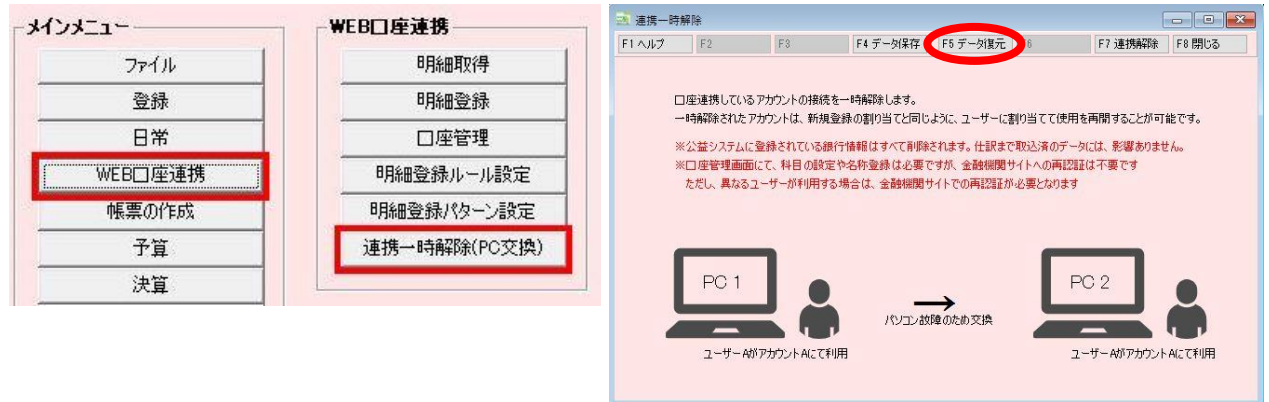
正常に登録できた場合、「口座管理画面」が表示されます。

次に、「データ復元」を行うので、「口座管理画面」は、「F8 閉じる」で終了します。

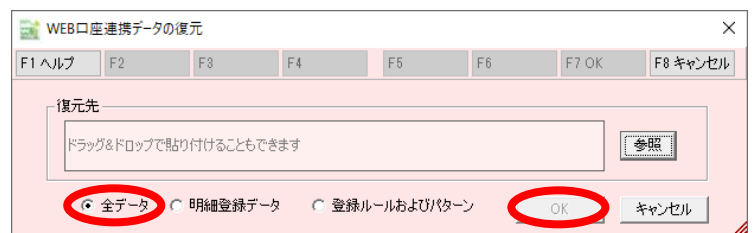


「WEB 口座連携」―「連携一時解除(PC 交換)」を選択します。

次に、「連携一時解除画面」が表示されるので、「F5 データ復元」を押下します。



次に、「WEB 口座連携データの復元画面」が表示されるので、「参照」から保存しておいた zip 形式の圧縮ファイルを選択、または復元先にドラッグ&ドロップします。



WEB 口座連携データは、「WB_CLNO_YYYYMMDD_法人名.zip」という圧縮ファイルになります。

「全データ」を選択して、「F7 OK」または「OK」を押下します

「復元確認画面」が表示されるので、「はい」を押下します。

下右図の「復元完了画面」が表示されると、「WEB 口座連携のデータ復元」が完了となります。



8. データのバージョンアップ

最後に、データのバージョンアップを行います。

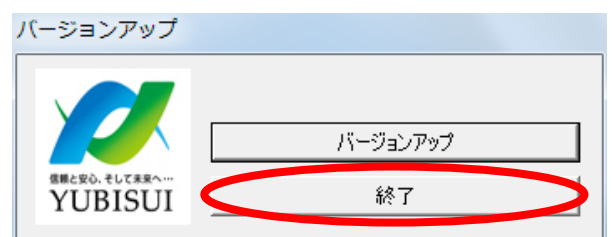
会計システム『指吸こころ Ex』を起動

(初回起動時は 2 頁のライセンス認証を参照)

ログインすると、「バージョンアップ画面」が表示されます。

(ログイン済の場合は、再度ログインしてください)

「バージョンアップ」を押下します。

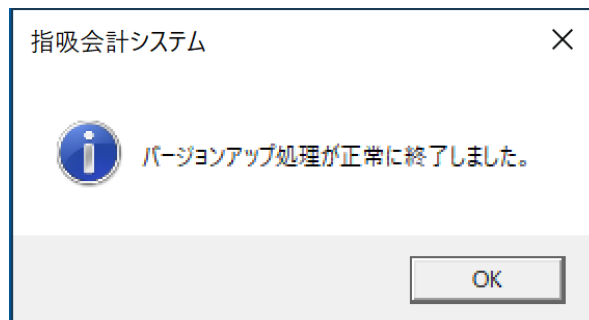


下左図の「バージョンアップ確認画面」が表示されるので、「バージョンアップ」を押下します。

バージョンアップが完了するまで、2・3 分ほどお待ちください。

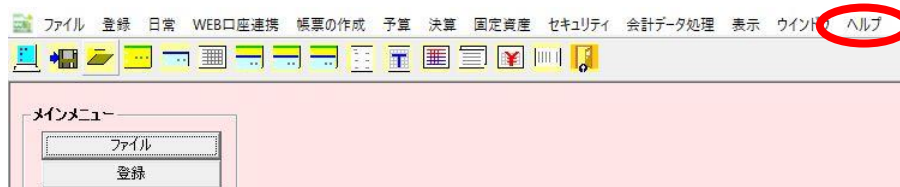
※完了までの時間は、パソコンのスペックや環境によって異なります。

下右図の「バージョンアップ終了画面」が表示されると、「データのバージョンアップ」が完了となります



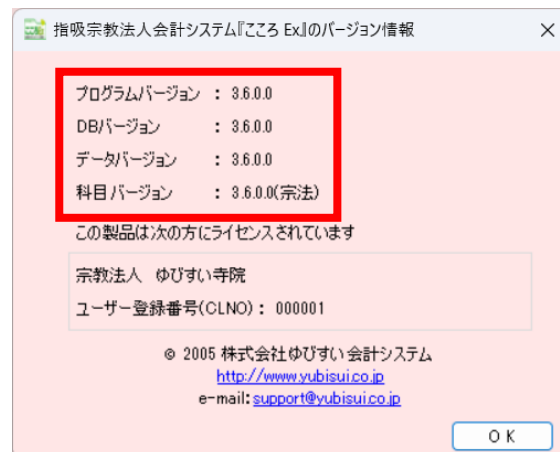
Ⅲ. 最新版の確認

上部メニューバーの「ヘルプ」から、会計システムのバージョン情報を確認することができます。



「ヘルプ」－「バージョン情報」を選択すると、
「バージョン情報画面」が表示されます。

右図のように、4 つのバージョンが「3.6.0.0」に、
なっていれば、バージョンアップ完了となります。



尚、お使いのパソコンの環境等により、正常にバージョンアップができない場合があります。

ご不明な点がありましたら、下記サポートセンターまでお問い合わせください。

株式会社ゆびすい会計システム

公益法人会計システム サポートセンター

T E L : 050-5526-4515 (受付時間 : 弊社営業日(10:00～12:00、13:00～17:00))

F A X : 072-222-3706

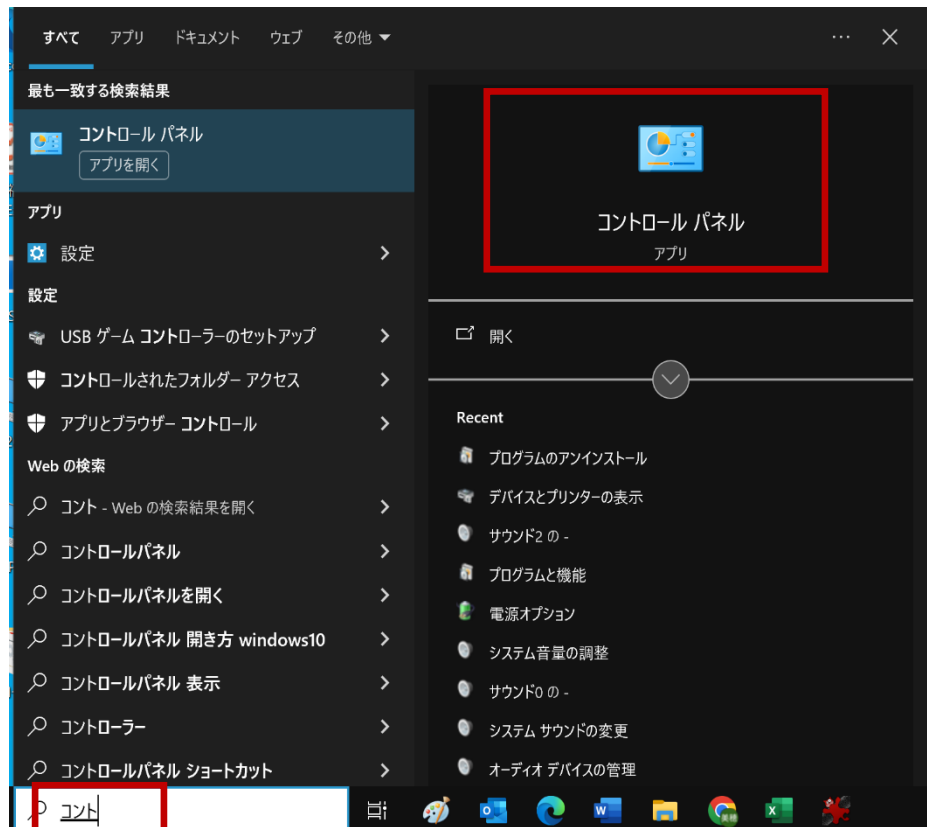
e-mail : support@yubisui.co.jp

「コントロールパネル」画面の表示について

検索で「コントロール」を入力

アプリが表示されます。

windows10



windows11

